

# グラフで見る東海経済(2021年4月)

2021年4月27日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

# 今月の景気判断～新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況にあるが、持ち直し基調

## 【今月のポイント】

- 生産については、過去に遡って誤りの可能性があるとのことで中部経済産業局が現在公表停止中であるため、前月の判断を保留
- トヨタの国内生産は、新年度以降持ち直し基調となる計画
- 実質輸出は2月は低下となったが、3月は持ち直しが見込まれる
- 20年度の設備投資は、前年比-1.4%の見込み。21年度は同+0.4%の小幅増の計画。製造業は減少が続き、非製造業は増加が続く
- 雇用、所得環境に弱い動きがみられる中、個人消費も弱含んでいる
- 住宅投資は前年比での減少が続くが、足下の動きは概ね横ばい

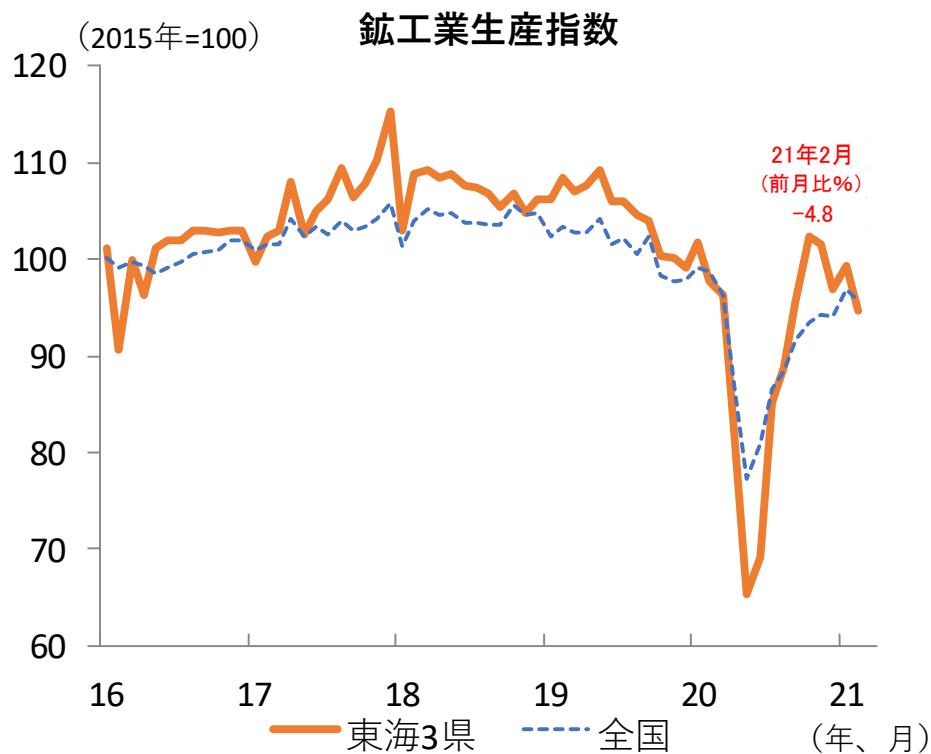
項目	現状
景気全般	新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況にあるが、持ち直し基調
生産	足踏み状態
輸出	足踏み状態
設備投資	弱含んでいる
雇用	弱い動きとなっている
賃金	減少している
個人消費	弱含んでいる(↓: 持ち直している)
住宅投資	横ばい(↑: 弱含んでいる)
公共投資	横ばい圏で推移している

注: ()内は前月からの変化の方向と前月判断

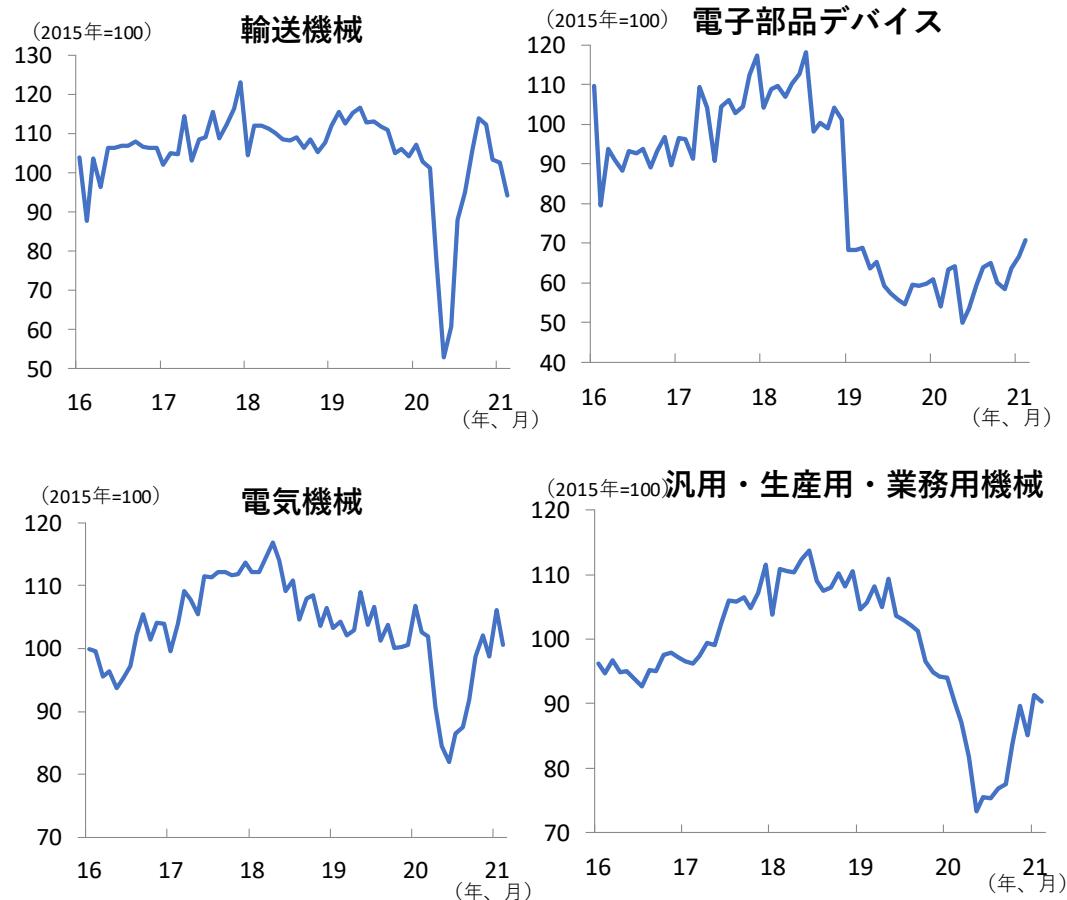
# 生産

鉱工業生産(東海)は足踏み状態。2月は前月比-4.8%と2ヶ月ぶりに減少した(速報値)

※中部経済産業局では、現在、鉱工業生産指数の公表値に誤りの可能性があるとのことで公表を停止中



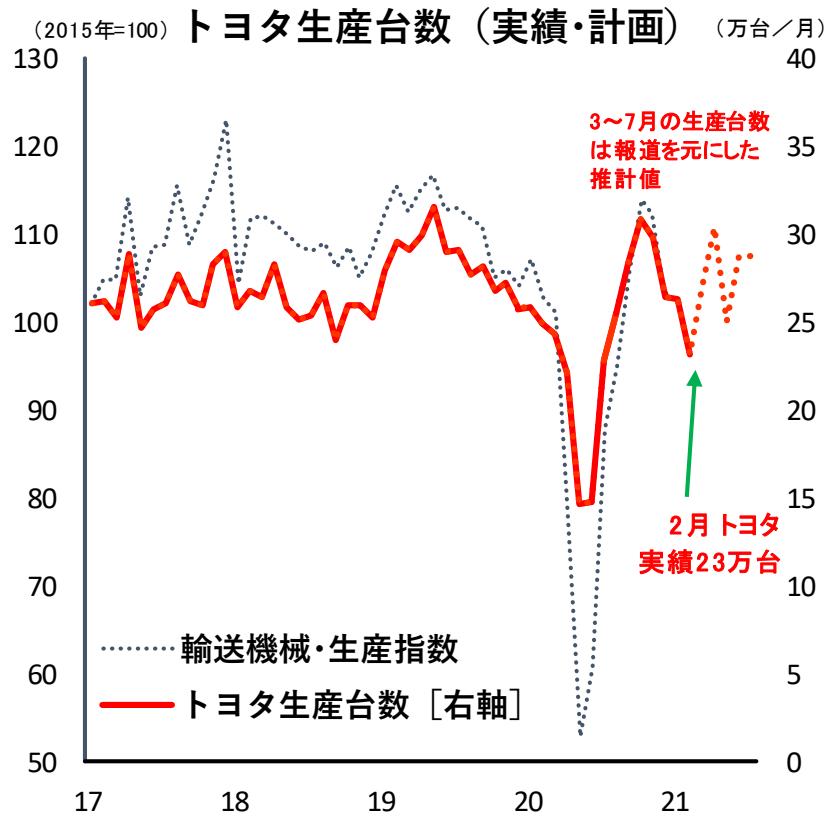
(出所) 経済産業省「鉱工業生産動向」



## 生産（トヨタ生産計画、金属工作機械）

2月のトヨタ生産台数（弊社季節調整値）は23万台と前月から減少した。先行きについては、持ち直し基調が見込まれている

2月の金属工作機械受注は、前年比+18.9%と2ヶ月ぶりに前年を上回った。国内向けは同一9.1%と27ヶ月連続で減少したが、海外向けは同+34.5%と大幅増。中国向けが同+157.2%と大幅に増加した



(注)トヨタ生産台数の季節調整は当社、輸送機械・生産指数は東海3県  
(出所)中部経済新聞、中部産業局「鉱工業生産指数」、鉄鋼新聞

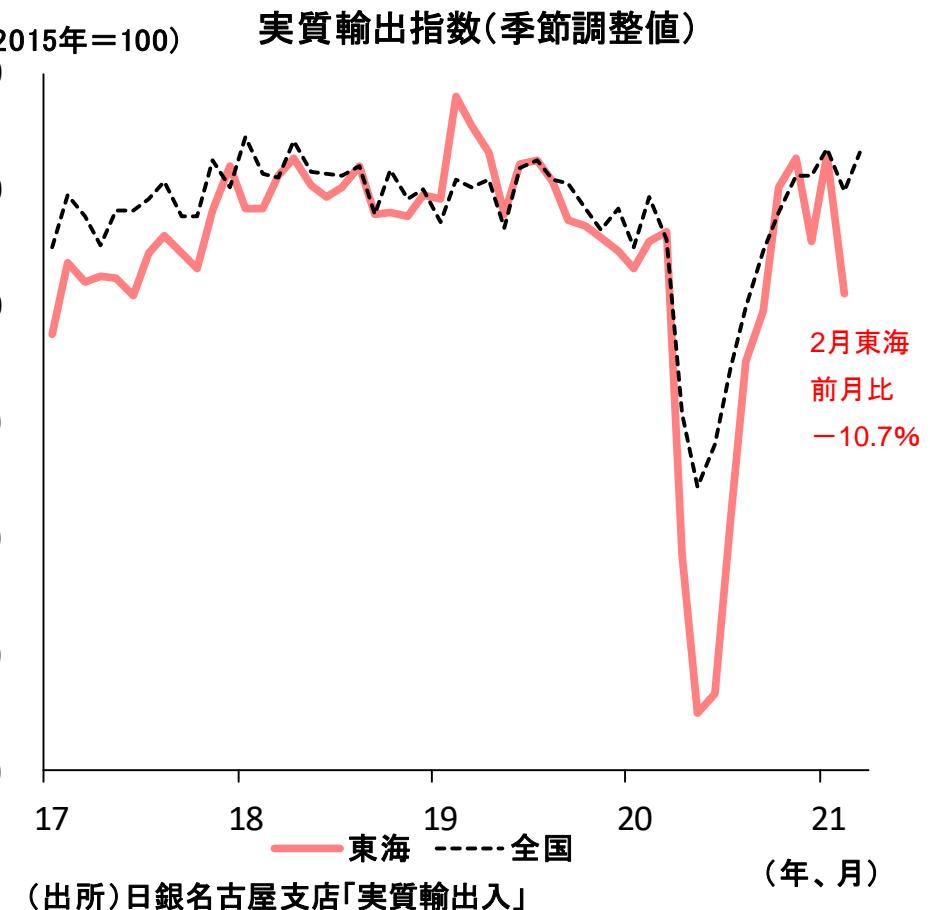
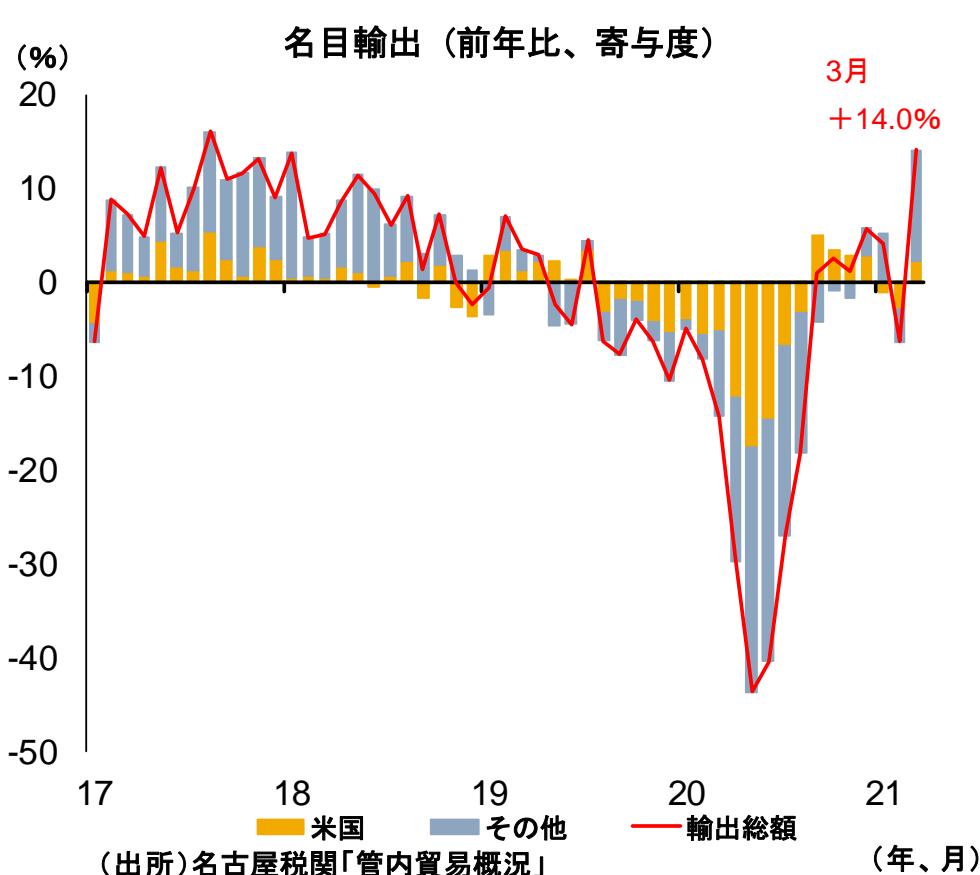


(出所)中部経済産業局「金属工作機械受注」

## 輸出

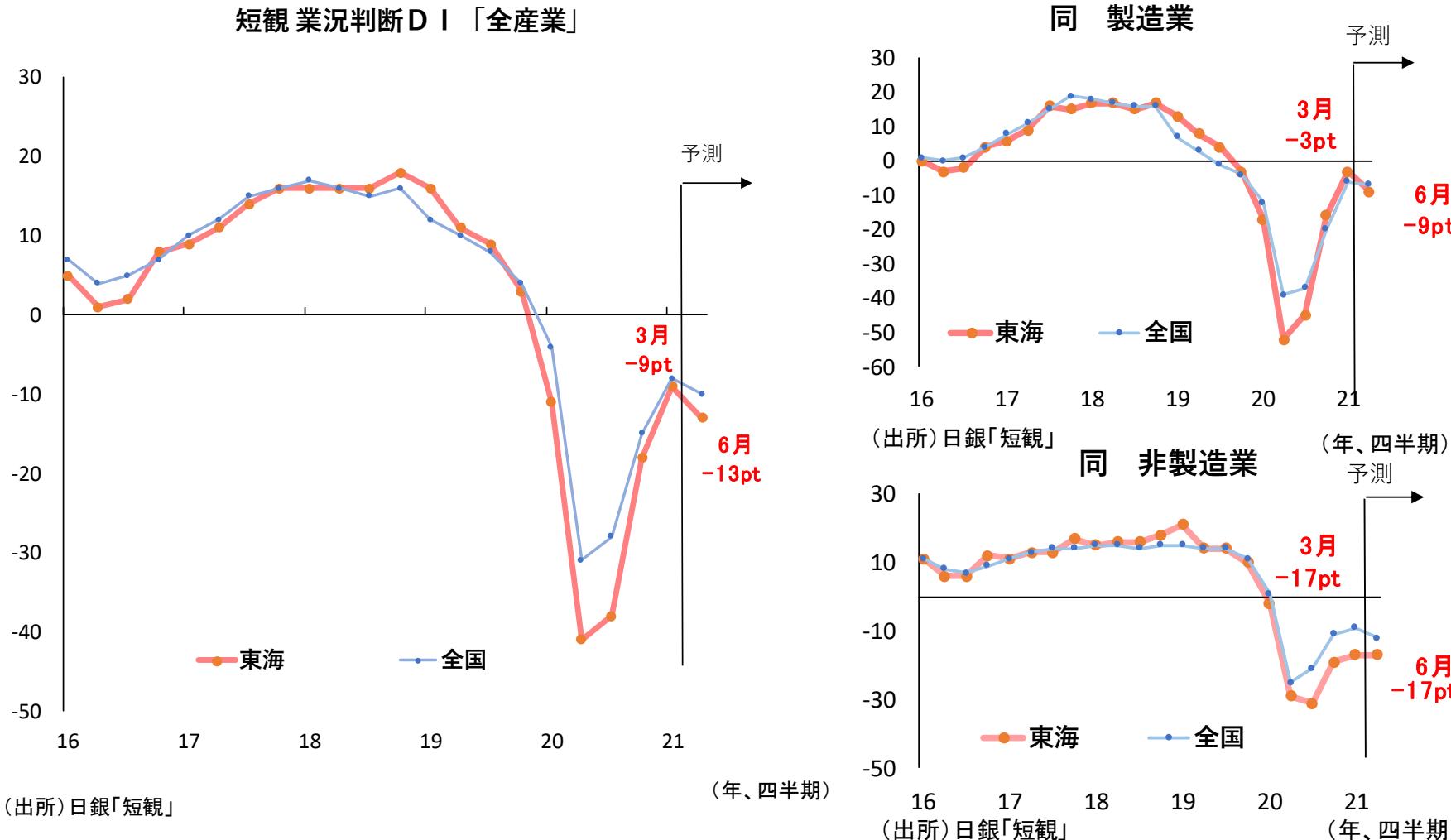
3月の名目輸出額は、前年の水準が低かったこともあって、前年比+14.0%と増加に転じた。地域別では米国、アジア、EUなど主要地域向けが、品目別では自動車部品、自動車などが増加した

2月の実質輸出指数(季節調整値)は前月比-10.7%と2ヶ月ぶりに低下した



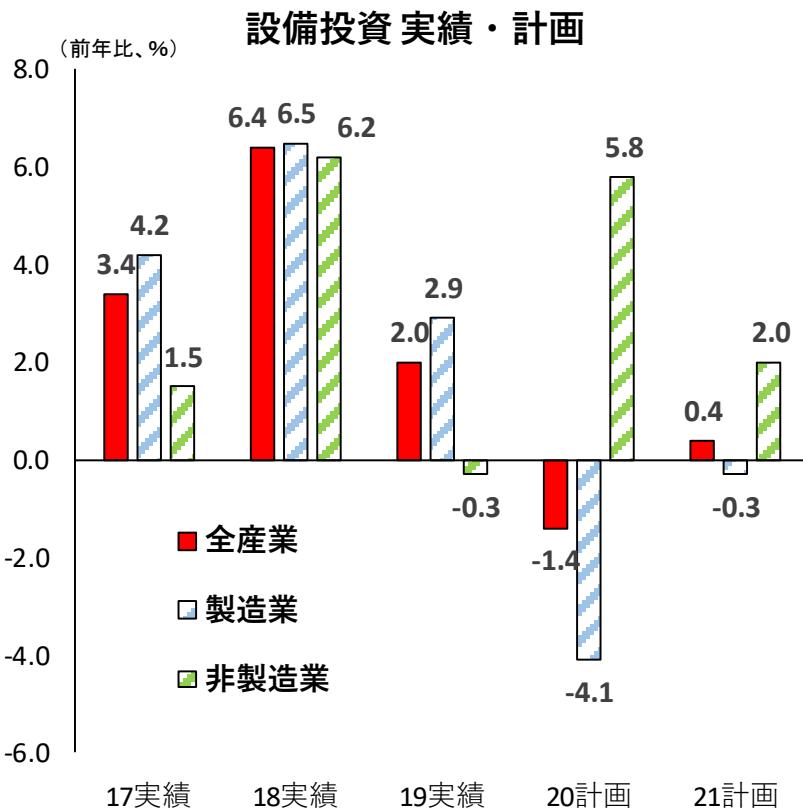
# 企業景況感(日銀短観)

日銀短観3月調査の業況判断DIは全産業で-9ptと、12月調査から改善した。製造業は-3pt、非製造業が-17ptと改善した。先行きは、製造業で悪化、非製造業で横ばいが見込まれている



## 設備投資

日銀短観3月調査によると、20年度の設備投資は、製造業が前年比-4.1%、非製造業は同+5.8%、となる見込み。全産業では同一-1.4%と12月調査から上方修正。21年度は、製造業が減少、非製造業が増加となり、全体では増加の計画。対個人サービスが大幅減となる一方、不動産が20年度に続き大幅増の計画となっている



(出所) 日銀名古屋支店「短観」

(年度)

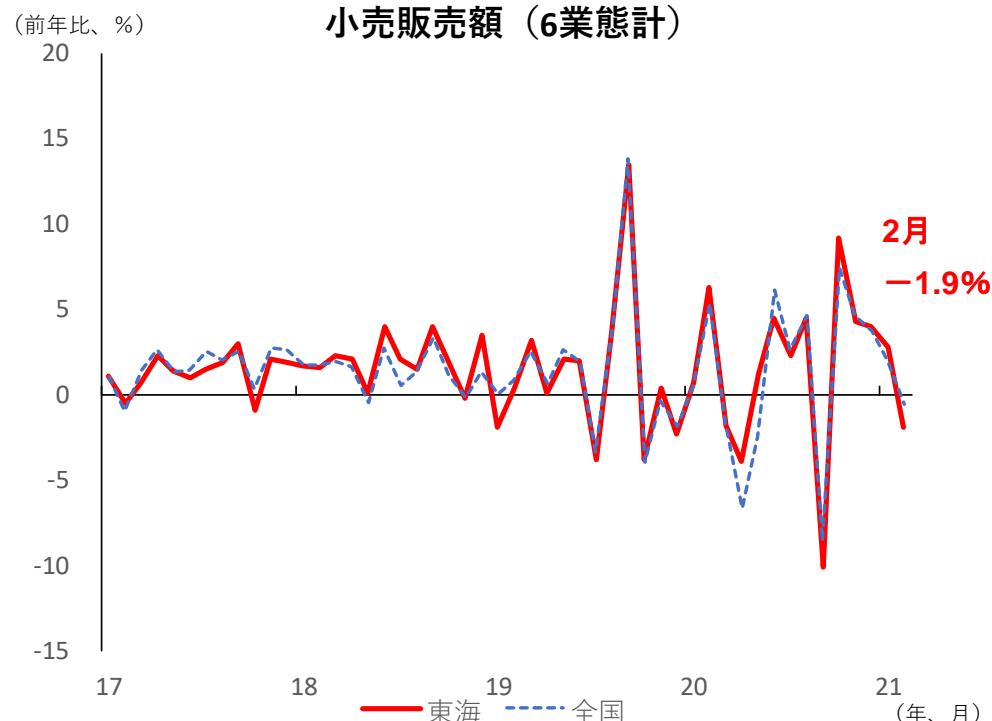
設備投資額 (前年比%)

	19年度 実績	20年度 計画		21年度 計画
		今回	12月調査時 [差異]	
全産業	2.0	-1.4	-2.2	0.8
製造業	2.9	-4.1	-4.0	-0.1
非製造業	-0.3	5.8	2.8	3.0

## 個人消費(小売売上、自動車販売)

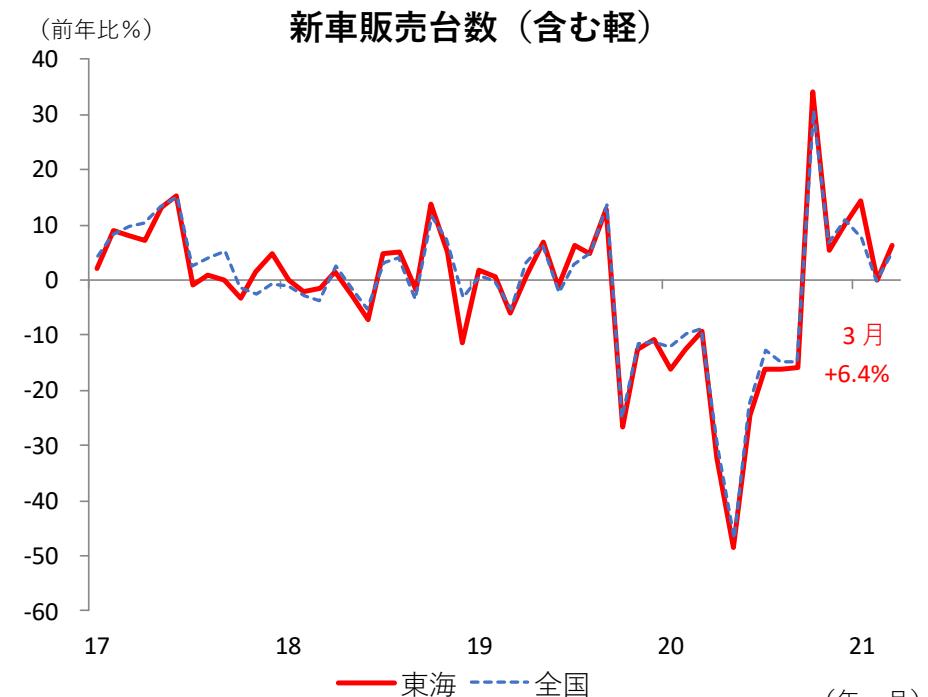
2月の小売販売額は前年比-1.9%と5ヶ月ぶりに減少した。緊急事態宣言や、前年の水準が日用品の買いだめで高かったことなどが影響した

3月の新車販売は前年比+6.4%と2ヶ月ぶりに増加した。小型車が減少したが、普通車、軽自動車が増加した



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計

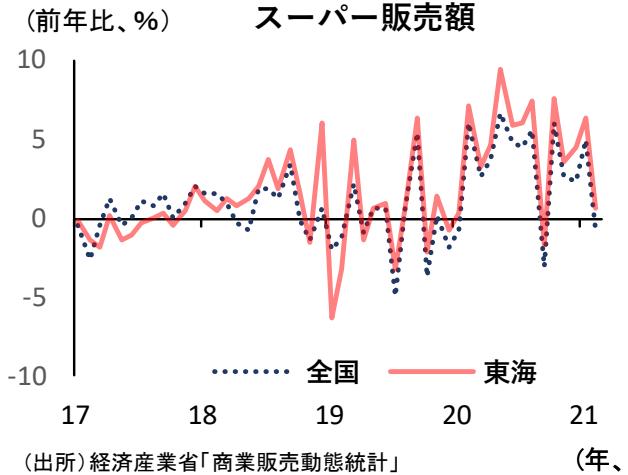


(出所) 日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」

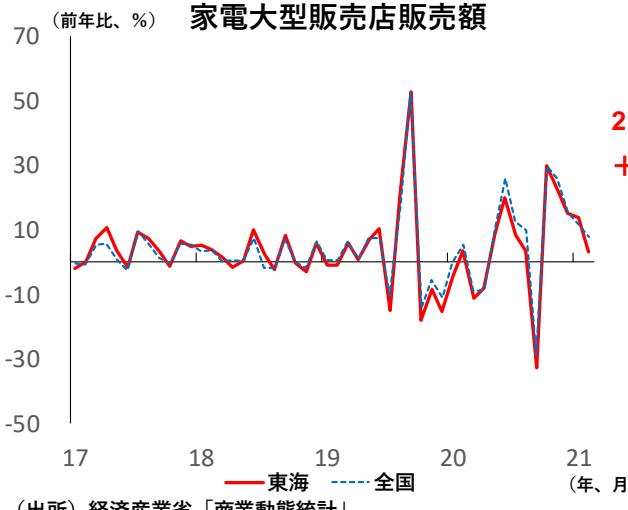
全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」

## 個人消費(業態別)

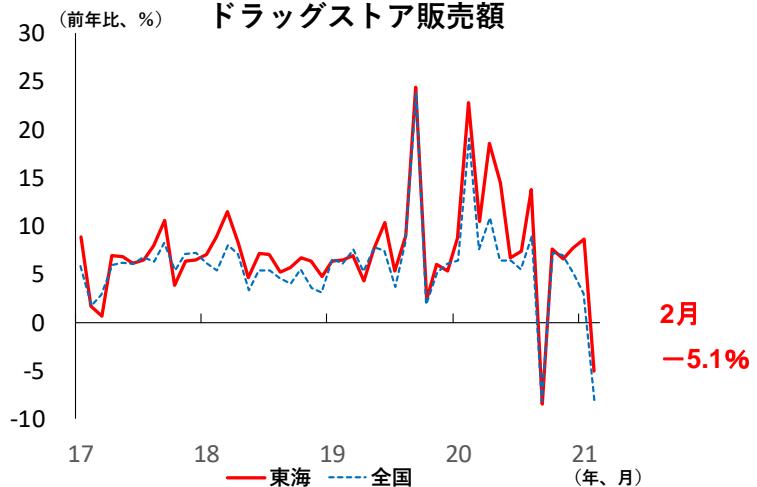
東海の小売販売額(2月)を業態別に見ると、スーパー、家電大型販売店は増加したが、他は減少した。3月の百貨店売上(名古屋)は前年比+35.2%と5ヶ月ぶりに増加。前年同月がコロナ禍で低水準であったため前年比では大幅増となったが、一昨年比では-14.4%減と低水準。



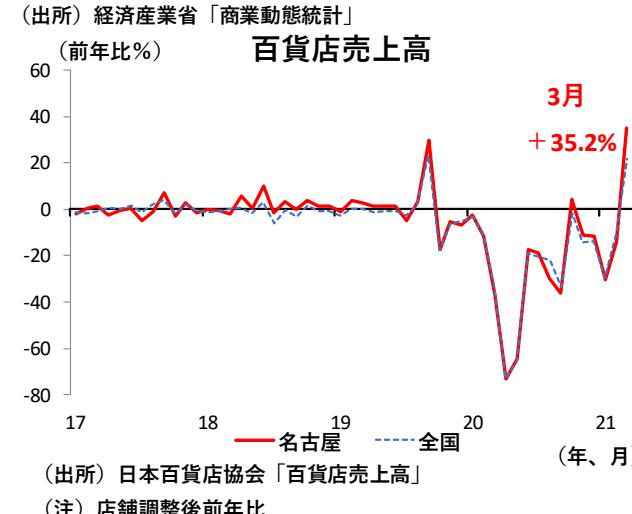
2月  
+0.7%



2月  
+3.0%



2月  
-5.1%



## マインド・景況感

3月の消費者態度指数は37.4(前月差+4.3%pt)と2ヶ月連続で上昇した

3月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は、48.6(前月差+6.6%pt)と2ヶ月連続で上昇した。緊急事態宣言の解除により持ち直しの動きがみられる一方、先行きについては感染再拡大への懸念がみられる



(注)東海の季節調整値はMURC試算

(出所)内閣府「消費動向調査」

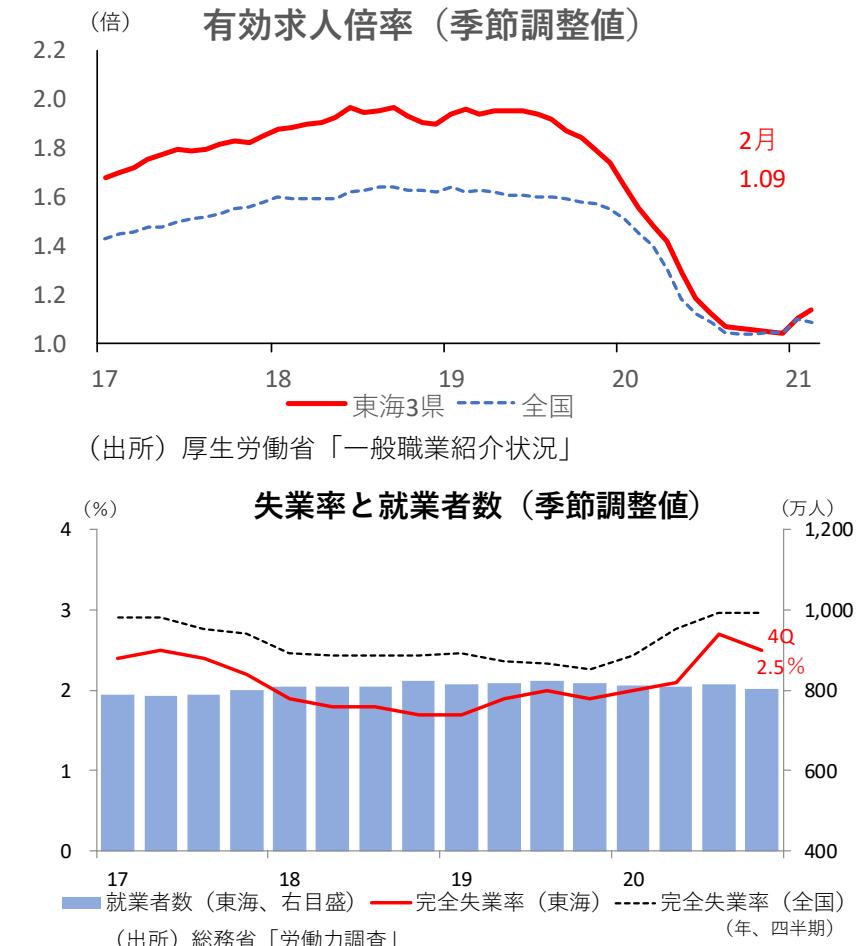
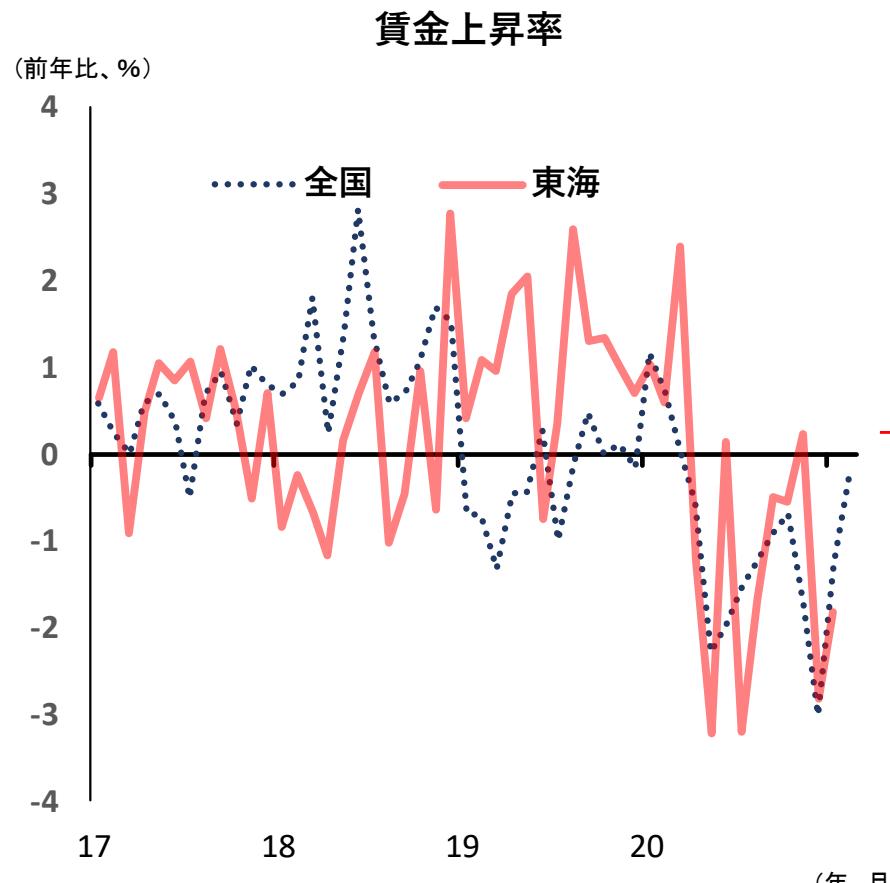
(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

## 賃金・雇用

1月の名目賃金指数は、前年比-1.8%と2ヶ月連続で低下した

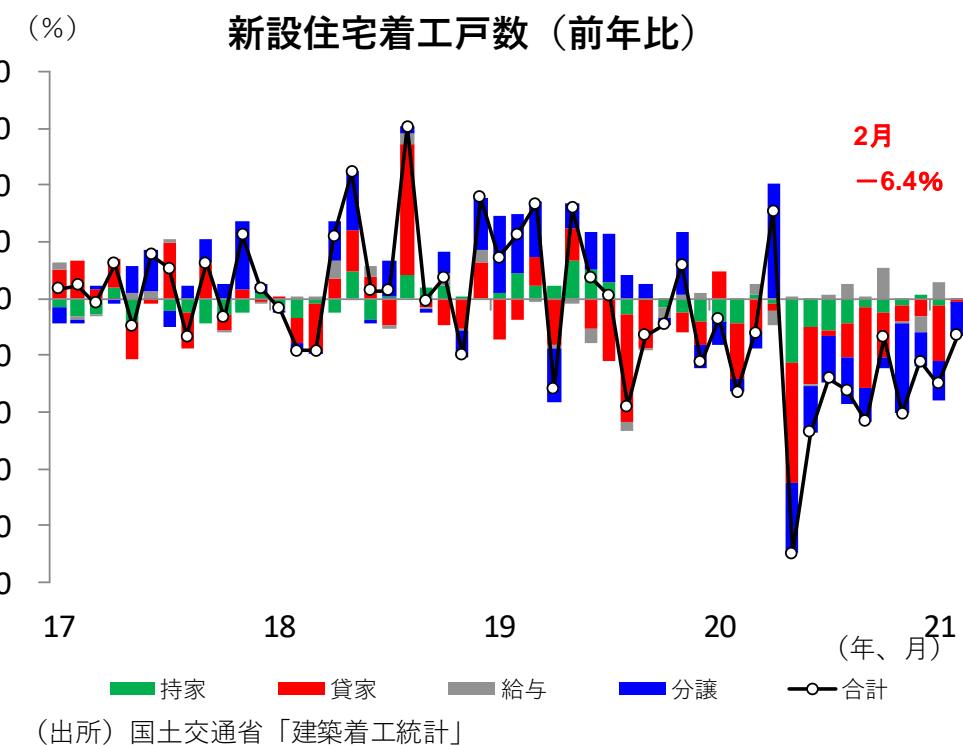
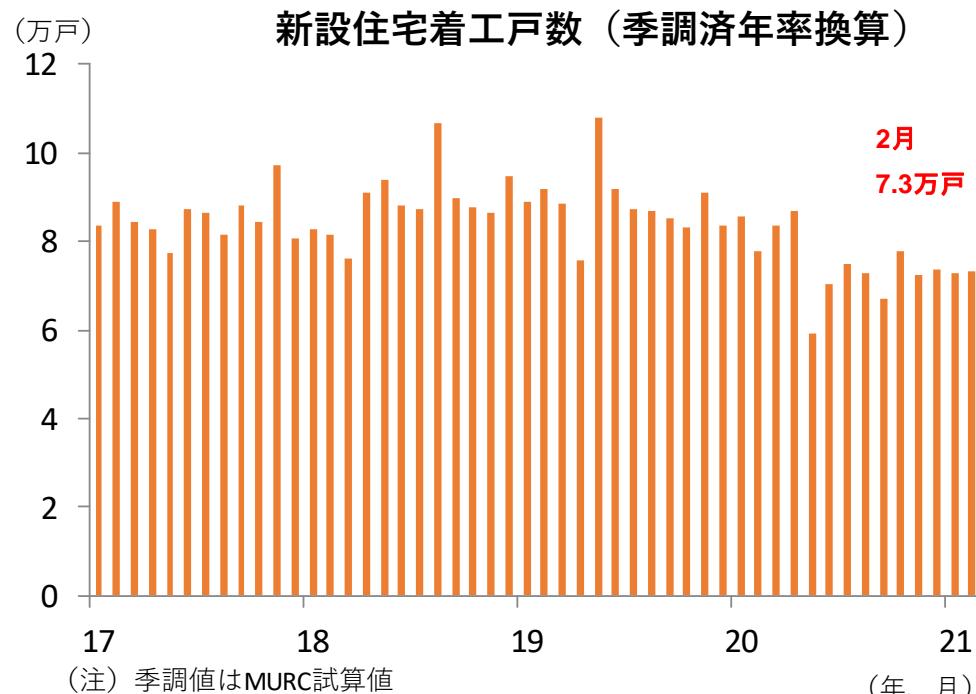
2月の求人倍率は1.09と前月(1.1)とほぼ同水準。求人数が増加し、求職者数が減少した

20年第4四半期の失業率は2.5%と4四半期ぶりに低下。就業者数は2四半期ぶりに減少した



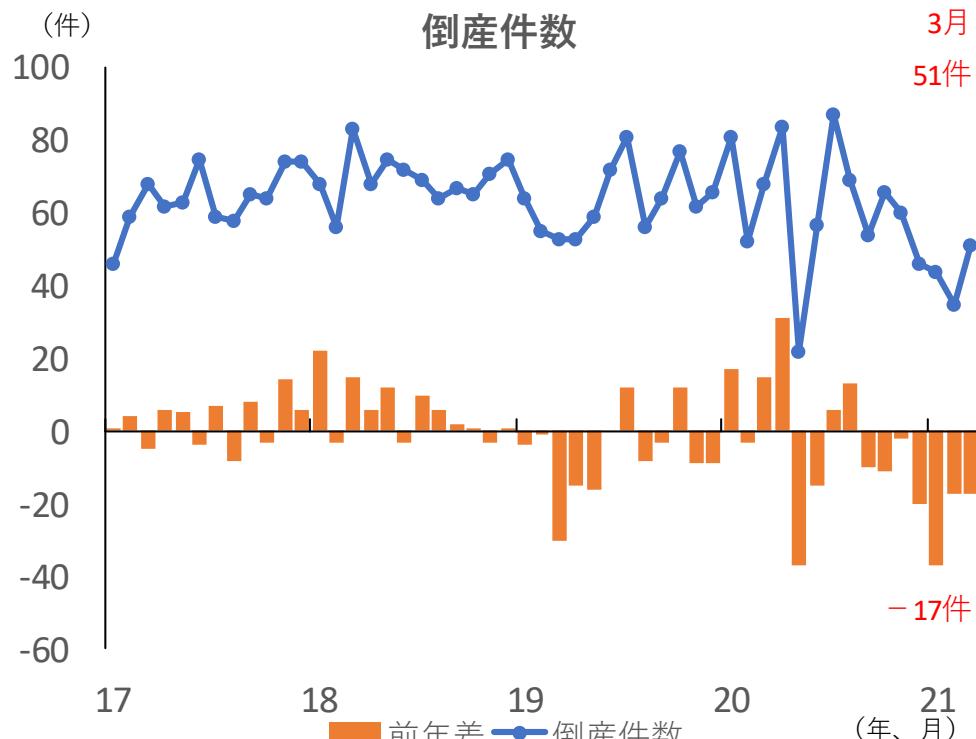
# 住宅投資

2月の住宅着工は季調・年率で7.3万戸と前月とほぼ同水準。原数値では前年比-6.4%と10ヶ月連続で減少した。貸家、分譲が減少した



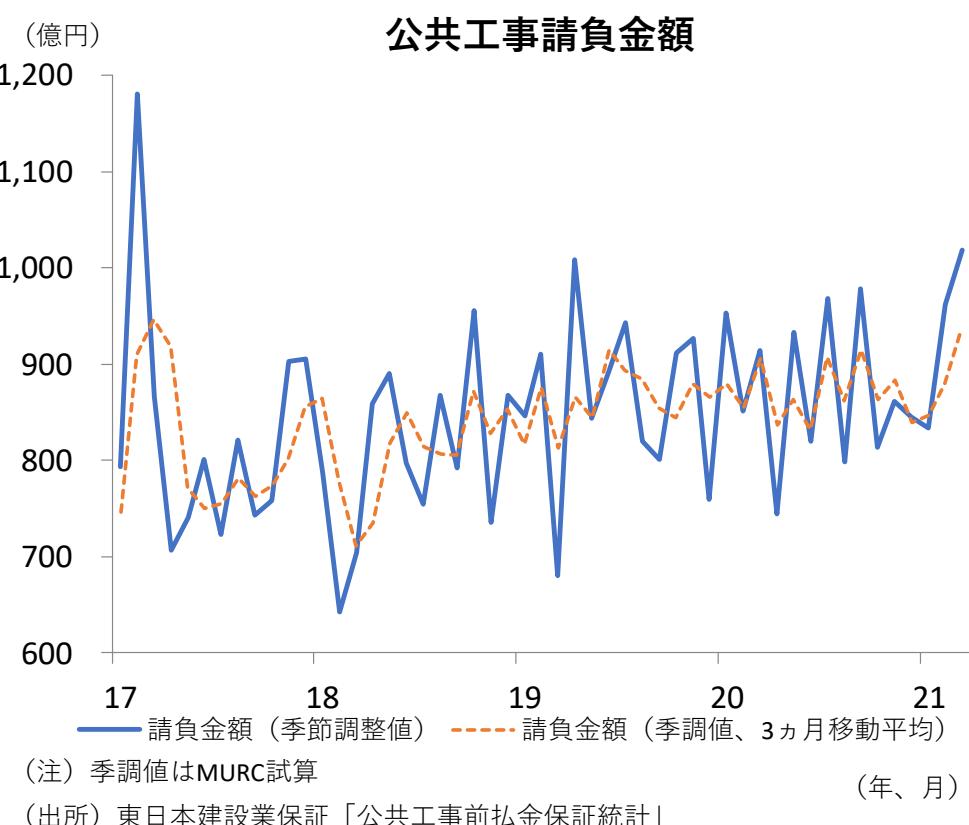
## 倒産

3月の倒産件数は前年差で7ヶ月連続で減少  
件数は、低水準で推移している



## 公共投資

公共投資は横ばい圏で推移している



ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 TEL:03-6733-1070 E-mail:[chosa-report@murc.jp](mailto:chosa-report@murc.jp)

〒108-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

ー ご利用に際して ー

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください